

■ 基本計画策定の背景と目的

《本編第1章》

金岡公園は、昭和34年に市民の憩いとスポーツの場所として供用開始された運動公園で堺市民オリンピック等、市民のイベントの開催地としても利用されています。

供用開始から66年が経過しており、施設の老朽化や市民ニーズの多様化への対応、新金岡地区の活性化に向けた取組の進展等、金岡公園を取り巻く環境は大きく変化しています。これらの変化に対応するため、運動公園としての更なる機能向上や金岡公園を含む周辺地域の魅力向上を目的に、金岡公園再整備基本計画を定めます。

■ 金岡公園の現状

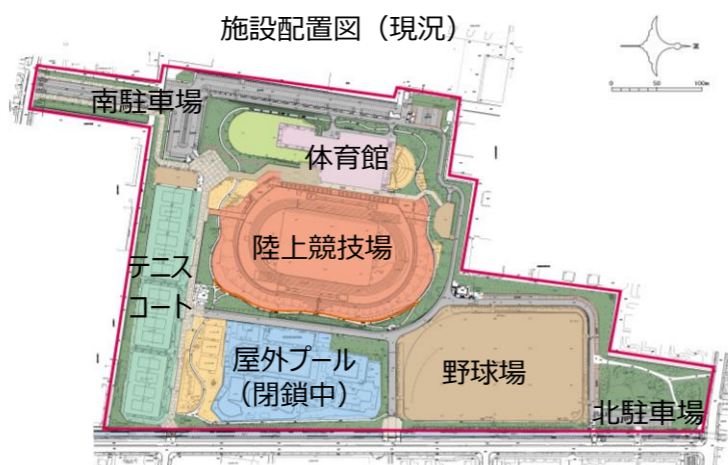
《本編第2章》

○金岡公園の概要

金岡公園の中央には、1周400メートル×8レーンのトラックやサッカー等の球技ができる天然芝フィールドを備えた陸上競技場があり、それを取り巻くように野球場、屋外プール（令和6年度から閉鎖）、テニスコート、体育館が配置されています。その他、ジョギング・ウォーキングコース、健康遊具等も整備されています。

公園概要

所在地	堺市北区長曽根町1179-18
開園日	昭和34年4月1日
公園種別	運動公園
開設面積	17.71ha
主な施設	陸上競技場、野球場、プール、テニスコート、体育館、遊具広場等



○主な施設の利用状況

▶主要施設について

年間利用者数は体育館、テニスコート、陸上競技場、野球場の順に多くなっています。

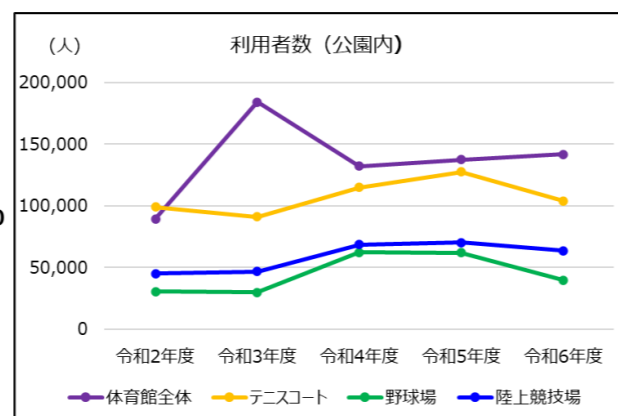
体育館、テニスコート、陸上競技場は年間を通して約80%の稼働率であり、体育館の大体育室は約90%の稼働率となっています。

野球場の稼働率は年間では約40%となっていますが、休日は約80%となっています。

▶駐車場について

南駐車場（271台）は、プール利用や夏休み期間中の部活動利用により、毎年8月に利用が集中しています。駐車台数確保のため、休日やプール開園時等のハイシーズンには北駐車場（49台）を運用していますが、野球場利用が増える休日等では不足し、園路の一部を臨時駐車場として対応している状況です。

施設利用者数の推移



■ めざす方向性

《本編第3章》

金岡公園は、これまで市民の健康増進やスポーツの拠点として親しまれてきましたが、近年ではライフスタイルも変化しており、更なる機能の向上が求められています。

これまで大規模スポーツ大会をはじめとする各種イベント会場として活用されてきた運動施設については、機能の維持・向上を図り、運動公園としての役割を強化する必要があります。

加えて、多様な世代が集い交流できる場の創出や、新たな賑わいを生み出す機能の導入を進めることで、従来の利用者ニーズへの対応にとどまらず、新たなニーズを創出し、市民にとっての緑の拠点としての役割を担うことも重要です。

以上のことを踏まえ、金岡公園のめざす方向性は次のとおりとします。

緑豊かで多様な世代が楽しめるスポーツパーク

■ 基本方針及び導入機能

《本編第3章》

めざす方向性を踏まえ4つの基本方針を設定します。また、基本方針を踏まえ各ゾーンに導入する機能について、以下のとおり整理し、検討します。

※各導入機能は現時点でのイメージであり、実際の整備内容は今後の検討により確定します。

1.市民の健康増進やスポーツの拠点としての機能向上

プールを含む複合施設の整備等、既存施設の改修を行い、スポーツ活動の拠点として利用環境の充実を図ります。

導入機能：アーバンスポーツ施設、複合施設、多目的広場、各照明設備等

2.多様な世代が集い、交流できる空間の形成

レストラン・カフェ等の収益施設の導入や、プールエリアの再整備により生じるスペースを活用した広場の整備等、市民の交流の場となる空間を形成します。

導入機能：休憩施設、遊具、カフェ・レストラン、大屋根広場等

3.都市の魅力向上に貢献する潤いある緑化空間の創出

公園内の桜並木の更新やシンボルツリーの育成をはじめ、公園の周辺エリアとの緑のつながりや緑の持つ役割を活かし、周辺地域における都市の魅力や住環境の向上に資する緑化空間を創出します。

導入機能：エントランス広場、桜のプロムナード、駐車場緑化等

4.災害時に備える防災機能の充実

広域避難地として災害時に必要となる避難誘導灯の整備や広場の整備等、防災施設の充実を図り、周辺地域における地域防災力の向上につなげます。

導入機能：ソーラー付き照明、大型車両進入に向けたゲート及び園路の改良等

■ ゾーニング計画と各ゾーンの役割

《本編第3章》

検討した公園計画から、各ゾーン内施設の整備の方向性を以下の3つに分類しました。

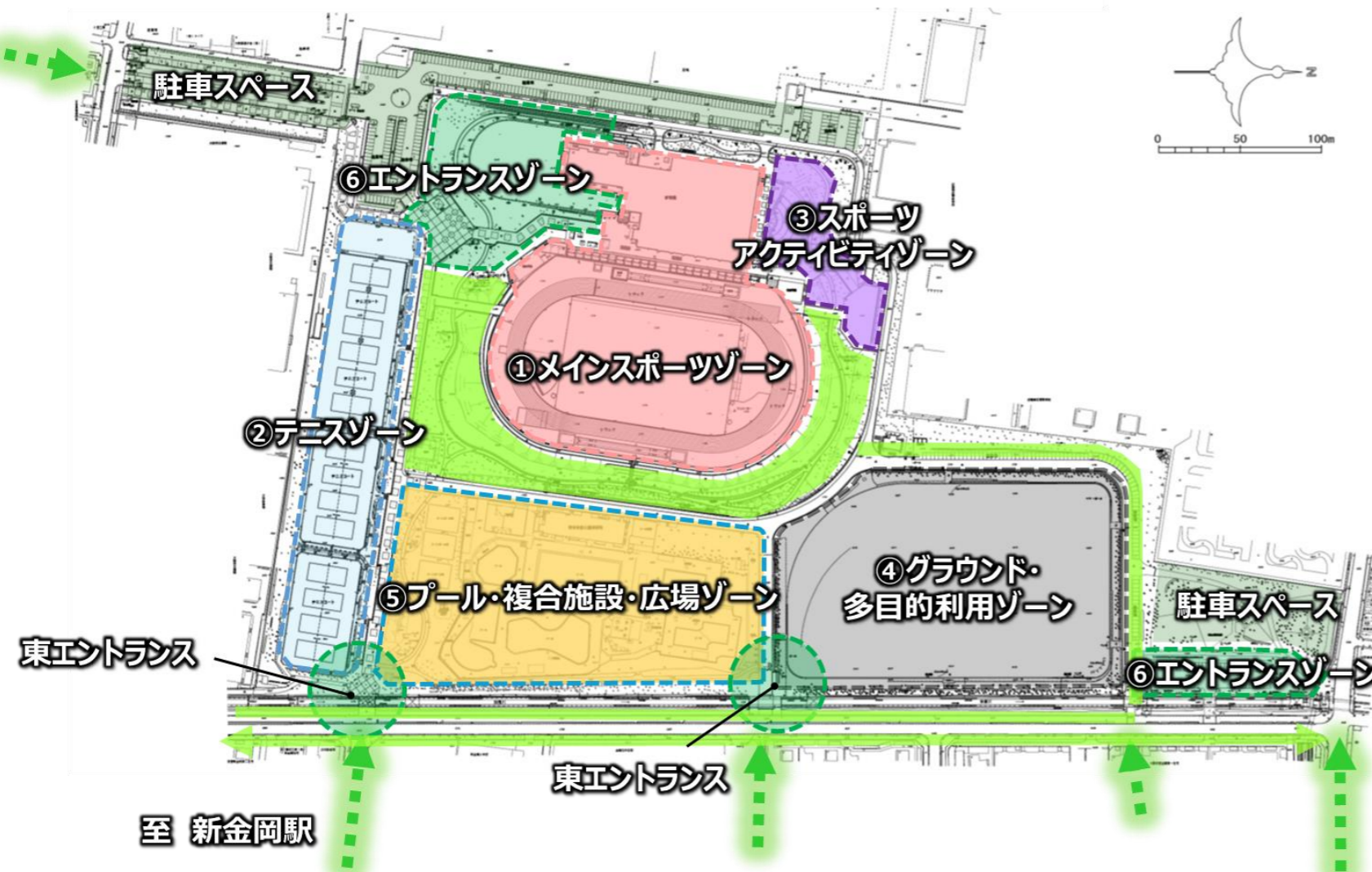
「機能維持」、「機能向上検討」、「新たな機能導入検討」

スポーツの拠点としての基盤を維持しつつ多様化するニーズに対応するため公園内を以下の6つのゾーンのとおりに区分しました。

「メインスポーツゾーン」、「テニスゾーン」、「スポーツアクティビティゾーン」、「グラウンド・多目的利用ゾーン」、「プール・複合施設・広場ゾーン」、「エントランスゾーン」

また、公園東側については、公園内を見通せる広がりのある空間とし、新金岡駅利用者や新金岡地区をはじめとした来園者を迎え入れるよう「東エントランス」として整備を行います。

<ゾーニング>



	ゾーン名	ゾーンの役割	機能の検討
①	メインスポーツゾーン	競技大会の開催やトップレベルの試合観戦等、多様な利用を通じ、市民の健康増進とスポーツ参加の機会の創出を図ります。	機能維持
②	テニスゾーン	利用者ニーズに応じた機能向上を図ることで、更なる施設利用を促進し、テニスを通じた市民の健康増進や交流機会の創出を図ります。	機能向上検討
③	スポーツアクティビティゾーン	日常において運動が身近に感じられる機能を導入し、金岡公園をあまり利用することのない人にとっても気軽に運動できる場を提供します。	新たな機能導入検討
④	グラウンド・多目的利用ゾーン	野球場の安全性の向上に努めることに加え、グラウンドゴルフ大会や北区区民まつり等のイベントを含めた多目的な利用を促進します。	機能向上検討
⑤	プール・複合施設・広場ゾーン	既存プールのリニューアルを通じて、市民の健康増進やレジャー機能の充実を図ります。また、新金岡駅からの主要エントランスに隣接する立地を活かし、公園の象徴となる魅力的な空間を創出し、地域の新たな賑わいを生み出します。なお、これらの施設や広場については、来園者の動線や利便性を考慮した施設配置を検討します。	新たな機能導入検討
⑥	エントランスゾーン	このゾーンでは良好な緑地空間や開放的な景観環境の整備により、来園者にとって魅力ある空間を提供します。	機能向上検討